

第 85 回日本選手権水泳競技大会におけるレース分析

日本水泳連盟 医・科学委員会 科学技術部

◆ はじめに

日本水泳連盟医・科学委員会ではレース分析を実施します。このプロジェクトの目的は、全レースをビデオ撮影し、その映像から計測した結果を選手やコーチの皆さんに提供することです。さらに、後日、競技力向上に関する二次的なデータ分析を行い、その結果を公表することもあります。

本プロジェクトでは、スタート、ターンなどの所要時間、ストローク局面における泳速度、ストローク頻度およびストローク長などのレース情報を求めます。これらの情報は、大会期間中ではレースの反省や次のレースの組立、大会終了後では、これまでの練習の評価や今後の課題の設定（目標の設定やトレーニング計画）、あるいは選手の特徴把握等に活用できるものと思います。

分析情報は、速報として概要を掲示します。また、個人データシートは、登録団体に対して、インターネットからダウンロード方式による無料配布を行います。（会場での印刷物の配布はいたしません）。

◆ 計測方法

観客席上部に設置したカメラより1ストローク毎の推進距離、時間情報を映像解析装置[浜松ホトニクス(株)製]で自動追跡し解析します。通過時間は選手の泳速度から頭部の通過を算出しますが、泳ぎのリズムにより手動計測と若干異なる場合があります。50m毎の通過時間はオフィシャルの計時装置より取り込んでいます。レース終了後、すみやかに提供するようにいたしますが、種目、距離、コースにより提供に時間がかかる場合がございます。また、予期せぬ障害物等により、計測できないこともありますのでご了承下さい。

◆ 結果の提供

提供方法は以下の2種類です。ぜひご活用下さい。

提供物	内容	提示方法	備考
速報一覧表	全選手の分析データの一覧	1階選手入り口内の掲示板上に掲示	例年通りの掲示物です
個人シート	各個人別のデータシート グラフを追加表示	インターネットからのダウンロード方式配布(本人の登録団体のみに対して)	配布方法は、「個人データシートの配布について」参照

◆ 個人データシートの配布について

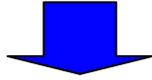
競泳レース分析で作成した個人データシートは、登録団体に対して、インターネットからのダウンロード方式による無料配布を行います。配布方法は、以下のとおりとなります。

① 登録団体担当者の登録

- ・データ提供HP(<http://sswdata.hpk.co.jp/09jpn/09jpn.html>)から登録してください。
- ・登録には、登録団体番号と、受信可能なEメールアドレスが必要です。
- ・1団体につき1登録となります。

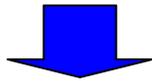


登録メールアドレスに、アクセスコードが書かれたメールが届きます。



② 登録団体のページへのログイン

- ・データ提供HP(<http://sswdata.hpk.co.jp/09jpn/09jpn.html>)からログインしてください。
- ・ログインには、登録団体番号とメールにより届いたアクセスコード(10桁)が必要です。



③ 個人データシートのダウンロード

- ・提供準備ができたものから、ダウンロードボタンが表示されます。
- ・ダウンロードのボタンをクリックすると、ダウンロードを開始します。
- ・PCに保存した上で、印刷し、選手・コーチへ配布してください。

注意:

- ・個人データシートの閲覧、印刷には、Acrobat Reader(無料)が必要です。
- ・アクセスコード、ダウンロードしたデータシートの管理については、各団体でお願いいたします。
- ・このデータは、競技力向上のために無料で提供しているもので、その他の目的での利用、複製、配布はできません。ご了承ください。
- ・詳細につきましては、
データ提供HP(<http://sswdata.hpk.co.jp/09jpn/09jpn.html>)をご覧ください。

以上